

2016年12月

木質構造設計支援技術資料作成委員会 設置申請

(設立趣旨)

これまで木質構造研究会では、「木造住宅の構造設計技術と普及に関する研究委員会（平成 24、25 年）」や「木造勾配屋根の水平耐力の確保・向上技術に関する研究委員会（平成 27 年）」を設置し、主に住宅規模の木造建築物の構造設計における実務上の課題に関する情報交換や、課題解決に資するための技術資料や構造データの作成を行ってきた。これらの活動においては、木質構造設計者のみならず、意匠・計画の設計者等との意見交換も積極的に行い、多くの設計上の課題の抽出と、関連する実験データを蓄積することができた。一方で、木造住宅はもとより、新しい木質材料や中大規模の木質構造設計にも対応できる木質構造設計者の育成と支援が、これまで以上に喫緊の課題となってくることが共通認識として得られた。

以上を背景とし、本委員会では、木質構造設計者の技術支援を目的とし、①これまでの活動において得られた実験データの活用法や指摘された技術的課題の具体的な解決手法を示す設計技術支援資料を作成すると共に、②木造建築物における木ねじ活用のための試験・評価法の検討、および③新しい木質材料や中大規模の木質構造設計に関する情報交換・情報収集と実務における課題の抽出を行う。

- | | |
|-----------|--|
| 1. 期間 | 平成 28 年理事会承認後～平成 30 年 3 月予定 |
| 2. 委員長予定者 | 平井卓郎氏 |
| 3. 幹事予定者 | 植松武是氏 |
| 4. 研究実施計画 | <ul style="list-style-type: none">・理事会承認後、委託者と受託契約を締結し、委員長・幹事が中心となって委員を選出。・適宜、会員や工務店、木質構造設計者へのヒアリング等も実施し、試験体仕様の絞り込みや実験計画等を検討。・北海道大学小泉研究室、北海道科学大学千葉研究室等の技術支援を受け実験等を実施。・林産試験場等における木質材料の材料実験や構造実験の見学を実施。・木造化、木質化事業に従事した設計者等との情報交換を実施。 |

現在の候補：北海道日建設計（物件：留辺蘂小学校）
石本建築事務所（物件：平取国保病院）

以上

◆委員構成（案）

委員長 平井卓郎（北海道大学名誉教授）
幹事 植松武是（林産試験場）
委員 石山祐二（（一社）北海道建築技術協会、NewsT 研究所、北大名誉教授）
遠藤謙一良（株式会社 遠藤建築アトリエ）
小野寺一彦（有限会社 設計工房アーバンハウス）
荻部泰輝（東日本パワーファスニング株式会社）
佐藤民佳（（一社）北海道建築技術協会）
澤田 圭（北海道大学）
千葉隆弘（北海道科学大学）
奈良謙信（有限会社 奈良建築環境設計室）
橋本岳史（若井ホールディングス株式会社）
舟木幹也（株式会社 集団制作建築事務所）
村上篤志（株式会社 MURAKAMI DESIGN）
宮城正弘（株式会社北海道日建設計）
山田恵一（さくら構造株式会社）

以上